

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育課程(全体的な計画)は、保育理念、教育保育指針や教育保育目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえ、地域の実態に応じて編成している。地域の特徴として、母親が就労し、祖父母も働いている家庭も少なくない。その地域ニーズに応じて土曜保育等も実施するとともに、地域の子育て支援としても役割を担っている。また、地域と連携し、園庭開放や育児相談、地域の老人施設の行事への参加もしている。子ども同士や地域住民の関りが密な地域でもあるので、地域で子どもを育てていこうという考えの下、近隣住民からの採れたての野菜の差し入れや、毎月の絵本の読み聞かせボランティアの受け入れ、散歩の際の地域の方々との関わり等通じた交流ができています。年2回の愛園作業の日には、保護者の協力のもと、園の草刈りやワックスがけ等、園の環境整備に積極的に行っている。保育課程は、毎月の職員会や年度末に職員で評価し、次年度の編成に活かしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園児の人数に対して、園庭が広く、自然に恵まれ、保育室もゆったりした空間である。室内に湿度、温度計を設置し、空気清浄器の使用及び換気により、快適に過ごせる環境となっている。また、コロナ等感染対策のため、室内の玩具等の消毒は、毎日行い、特にトイレについてはアルコール消毒を毎回行う等、衛生管理を努めている。子どもたちが、テラスでおもいきり遊べるように、ブルーシートを敷いて走れるようにしたり、トランポリンを準備する等、子どもが気持ち良く遊べる工夫をしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの日常の様子からエピソード記録を作成し、エピソード研究を行っている。この取り組みにより、担任自身の子どもの理解が深まるだけでなく、職員同士で話し合える機会となり、全職員が一人ひとりの子どもの理解を深め、子どもの思いに寄り添える保育につながっている。また、子どもがその子らしい良さを引き出し、自分の意見が持てる（言える）ように職員間で話し合っている。さらに、子どもに対してゆとりを持って優しい言葉がけを行うように努めるとともに、自分を表現する力が十分でない子について、職員間で理解を深め、子どもの状況に応じた保育を行っている。子どもの気持ちを落ち着かせる必要がある場合には、保育室の玩具や壁飾り等がある空き部屋を利用して、子どもが一人で安心して過ごせる場を準備している。</p>	

改善できる点/改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>子どもが基本的な生活習慣を身につけるための保育をするにあたり、保育者は子ども一人ひとりの発達を捉え、子どもの自分でやろうとする気持ちを大切にされた対応に努めている。年齢や季節、活動量に応じて、子どもひとり一人の状態に応じた活動と休息のバランスを保てるよう、午後などに身体を休める時間を設け、子どもが健康に過ごせるよう配慮している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>子どもたちが主体的に自然や社会にかかわることができるように工夫している。また、ひとり一人の子どもに対して、興味のある事を大切にしながら主体的に活動できるような環境となるよう努めている。園では、地域のまちづくり協議会と共催で、芋ほり体験を計画し、園児が地域の人々と一緒に芋ほりができる機会を設けている。また、園内にも畑があり、夏と冬には、園児が育てた野菜を収穫している。コロナ以前は、老人施設見学や他の幼稚園とのドッジボール大会を実施したり、タクシーで外出等の機会を設けていたが、現在はコロナ禍のため、困難な状況にある。今後、状況が良くなればまた、再開されることに期待する。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>0歳児が長時間安心して快適に過ごすことができるよう、保育室は明るく、毎日清潔な環境を整えている。子どもの表情等から子どもの姿を捉え、応答的なかわりを通して、思いを受け入れることを大切にし、愛着関係や信頼関係の形成に努めている。送迎時に、保護者に園での生活の様子等を話したり、連絡帳を活用しながら、保護者と子どもの健康状態や育ちを共感し、家庭と連携しながら保育を進めている。現在、0歳児は一人なので、保護者同士のかかわりが少ないため、保育士は積極的に保護者の悩みを聞くようにしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育を行う様々な場所で、子どもが十分に身体を動かしたり、探索活動が行えるように環境を整えている。子どもの自我の育ちを支えられるよう、自分でしようとする気持ちを大切に、思いを受け止めた上でその子に合った対応や他者とのかわりが持てるようにしている。また、異年齢での交流の機会が多く、年長児に刺激され、主体性が育まれている。また、送迎時に、保護者に園での生活の様子等を伝えたり、連絡帳を活用しながら、保護者と子どもの健康状態や育ちを共有し、保護者からの子育て相談も受けつつ、家庭と連携した保育を進めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 年齢ごとの「健康・人間関係・環境・言葉・表現」5領域による保育計画、指導計画があり、計画に基づいて発達過程を大切にしながら保育を進めている。園庭、築山、近隣の神社等で子どもたちは木の実を拾ったり、紅葉などの季節を感じる等、自然の中でのびのびと活動している。また、保育参観、個別懇談、園評議員会や地域の便り（公民館だより等）を通して、保護者や地域、小学校等に子どもの育ちを伝えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 障がい等により、支援が必要な子どもに対して、加配保育士を配置したり、必要に応じて保健センターや子ども発達支援センター（ほけっと）等の専門機関等、関係機関に相談したりする等、連携を図っている。障がい個性に配慮した個別の指導計画を作成し、子どもが自己の強みを発揮できるよう長期的な見通しを持って保育を行っている。また、集団生活や子ども同士のかかわりを持てるよう配慮するとともに、心身の状況によっては安心して過ごせる空き教室を準備している。子どもの状況については、保護者と情報共有し、共通認識を持つよう努めている。保護者の思いを受け止めるとともに、子育て相談を受け、必要な場合は専門機関等の紹介をしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 長時間保育利用の子どもが少ないこともあり、畳の温かい一つの教室で家庭的にゆったりと過ごせるよう配慮した保育ができており、異年齢の子どもたちとの交流の場にもなっている。担任と延長保育担当者は情報交換を行い、その日の子どもの状況について保護者への連絡事項等があれば、保護者に確実に伝えられるよう、口頭伝達だけでなく、ホワイトボードに記入し、引き継いでいる。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 園評議員会等で、小学校の校長先生等に園内や子どもの様子を見てもらったり、小学校に入学した際に、より子どもがスムーズに生活に慣れるよう、小学校との意見交流を行い、就学に向けて連携している。また、園児にとって就学が身近に感じて、楽しみとなるよう、夏に小学校のプールを利用したり、遠足で小学校の遊具で遊ばせてもらう等の工夫をしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	(a)・b・c

<p>良い点／工夫されている点： 今年度も引き続き、コロナ禍の状況にもあるので、毎朝、家庭で健康チェックカードに記載し、提出してもらい、登園前の体調の把握に努めている。登園中に、体調の変化があった場合には、保護者に連絡する等し、降園後、家庭と連絡を取り、体調について事後確認し、記録に残している。健康管理に関するマニュアルに沿って、毎日の終礼でその日の子どもの体調変化について職員間で共通理解している。保護者から健康に関わる必要な情報を得るように努め、子どもに既往歴や持病がある場合は、職員会議等で常に共通理解している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 年2回、健康診断、歯科検診を行い、子どもの発育や健康状態を把握している。検査結果は、保護者に伝え、結果によっては病院受診につなげ、受診結果については、園に報告してもらい、保護者と園とで子どもの健康状態を共有している。保護者が子どもの状態の理解を深め、日常生活に活かせるように、保健だより、園だよりや掲示板等を活用し、健康に関する情報を発信している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： アレルギー対応マニュアルを整備し、全職員に周知している。食物アレルギーのある子どもについては、医師の診断書の提出を受け、保護者と面談して情報共有するとともに、連携を図っている。また、毎月、献立を保護者に確認してもらい、その献立表についてチェックしている。給食時、食事の席を決めたり、おかわりをしなくてもいいように最初から量を多めにする等して、誤食しないよう配慮している。さらに、アレルギーについての研修に参加した職員は、全職員が共通理解できるよう報告している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-4 食事

	<p>第三者評価結果</p>
<p>IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 食育計画を作成、食を通して楽しい経験ができるようその時々行事食や園外で食事をする機会を設けている。コロナ禍で園外出が困難な中であるが、暖かく天気の良い日等には、園のテラスで食事をし、楽しいひと時を過ごしている。子どもたちが自分の食事の適量が判断できるよう、一人ひとりの量を調節し、適量を知る経験の積み重ねを支援している。また、苦手なものが食べられる時は褒める等して、食に関して、達成感や前向きな気持ちを持てるよう声かけしている。4～5歳児については、野菜を育て、収穫し、メニューに加えることにより、食に関する体験ができるよう工夫している。コロナ禍により、給食参観は行っていないが、メニューのレシピや給食だより等を配布する等して、保護者が子どもの食への理解を深めてもらえるよう努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 子どもの食べる量や状況、食事の様子は日誌に記録し、調理員を通して献立を作成する市の栄養士に伝えることにより、献立内容の見直しにつながっており、子どもがおいしく食べられる食事の提供ができています。調理は園内で行われており、適時適温の食事が提供されています。また、行事食もあり、四季の旬の食材を使った料理を食べる事もできています。衛生管理マニュアルが作成され、それに沿って適切な管理がなされており、子どもが安心して食べる事ができる食事が提供できています。</p>	
改善できる点/改善方法：	

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 送迎時に保護者に口頭で子どもの様子を話したり、連絡ノートを活用する等して日常的に情報交換し、家庭と連携できるよう努めている。また、年2回、個別懇談を行うほか、要望に応じて個別懇談の機会を設けて情報交換等を行っている。さらに、園で直接子どもと触れ合う行事を通して、保護者に子どもの成長を伝えるとともに、子どもの発達や育児を共有できる機会となるよう心がけている。また、園だより、クラスだより、掲示板を利用して保護者に保育内容を伝え、子どもの発達過程や保育方針や意図について保護者との相互理解を図るように努めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 送迎時には、保護者とのコミュニケーションに心がけ、保護者が気軽に相談できるよう配慮している。また、保護者からの相談があれば、保護者の事情に合わせて対応するようにしている。相談内容については、園長に報告し、必要に応じて職員間で話し合い、対応している。さらに、他機関との連携が必要になった場合には、主任や園長を通し、園として支援している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 虐待防止と発見対応に関するマニュアルを作成している。隔月の身体計測や着替えの時などに、虐待等の疑いがある場合には、園長に報告するとともに、必要に応じて、子育て支援課・相談員・保健センター等と連携する仕組みができています。</p>	

改善できる点／改善方法：

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育士は、日々の保育を記録し、自分の保育を振り返り、次回の活動や保育に活かせるように努めている。カリキュラム研、園内研修、週案などを通して、各クラスの子どもの育ちを確認し、職員間で話し合い、次の課題があれば保育実践の改善方法を検討し、保育士全体の専門性の向上に努めている。年度初めに目標設定し、各期で自分の保育を振り返り、次回に活かせるよう努めているとともに、秋には自己評価を行い、次年度に向けて見直しをしている。保育士の自己評価は、主任、園長に提出し、面談を通して振り返りをしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VII 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

VII-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>常に不審者情報が届くように子育て支援室、教育委員会、岐阜県警察メールに登録している。また、防犯カメラを各所に設置し、不審者が侵入しないよう対策している。定期的に防犯訓練を実施しており、近隣の派出所の警察官に指導を受けつつ、園全体で安全に対応できる体制を整えている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

VII-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
VII-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者が保育参加等のための予定を立てやすくするために、園の行事予定等については、年度当初、保護者に配布し、事前に日時を知らせている。保育参加では、親子一緒で行える活動や親子観劇会等の行事を企画している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 保護者会が自主的に活動しやすいよう、保護者会の会議は園内で行っている。会議には園長、主任も参加し、助言や意見交換を行う等しており、園と保護者会とは良好な関係が築かれている。また、保護者会役員が参観日後の交流会を企画したり、行事の際に器具の出し入れや子どもの見守り等の協力を得たり、また、保護者会として、運動会や行事のプレゼントや記念品等の用意も行う等積極的に関わってもらっている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	a・c
<p>良い点/工夫されている点： コロナ禍の影響で、できていない活動もあるが、プールを使用させてもらったり、3月には小学校に遠足に行き、グラウンドや遊具を使わせてもらう等している。5歳児は近隣の幼稚園とバス遠足に行く等、他園児と触れ合う機会を設けている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	